

繁殖雌牛更新対策事業について

畜産振興資金の均等償還を検討



吉原 信雄 議員

事業の有効活用は

吉原議員

繁殖雌牛更新対策事業
に関わる平成19年度実績
と今年度（5月末まで）
の実施状況は

毎年実績を上げている

町長

平成19年度は自家保留
牛79頭、せり市導入牛40
頭、育成牛導入16頭の更
新実績があった。本年度
5月までの実績は、自家
保留牛4頭、せり市導入
牛2頭、育成牛導入6頭
である。

繁殖更新対策事業の 条件緩和は

吉原議員

少頭数飼育農家、高齢
の畜産農家等や担い手農
家は今が更新拡大のチャ
ンスだと思われる。本事
業を活用してピンチを
チャンスに変える施策は
できないか。

計画的な高齢牛の 更新を

町長

母牛の年齢別等級では
10歳以上が37%で、高齢
牛による出産が多い。子
牛の販売価格は、母牛の
年齢などによって価格が
安いなどの影響を一部受
けており、畜産経営の向
上を図るため、計画的に
高齢牛の更新をしていか
なければならぬ。

後継者等の現状は

吉原議員

肉用牛後継者、新規就
農者の現状は。

新規就農者支援事 業を実施

町長

平成19年度には7名、
最近の3カ年では17名の
就農者が支援事業を受け
ている。肉用牛繁殖経営
関係で昨年度の新規就農
者は4名であった。繁殖
経営の新規参入支援とし
て地域の特徴ある肉用牛
の振興、技術指導と併せ、
肉用牛繁殖雌牛等の増頭
など、各種事業等を含め
関係機関と連携して支援
をしていきたい。

基準の見直しを検討

町長

畜産関係者、精通者の
意見も参考に基準の見直
しを検討していきたい。

町独自の 振興資金施策は

吉原議員

新規就農者に対する事
業制度資金については、
町独自の施策として農業
振興資金の拡充はできな
いか。

均等償還の考えは

吉原議員

本年4月1日現在の基金
額は、7、890万円であ
り、貸付額は6、68
1万円である。現在の残
高は1、210万円であ
る。農業振興資金の畜産
振興資金については、繁
殖用雌牛の導入に1頭あ
たり50万円以内、成牛の
場合に1頭あたり70万円
以内で貸付けている。本
年度は8件で400万円
の貸付申し込みを受けて
いる。

畜産振興資金で対応

町長

大崎町農業振興基金の

肉用牛導入については
無利子であるが、償還に
ついては一括償還となっ
ている。経営拡大を目指
している若い担い手につ
いては、資金の借入れ等
に係る償還について、一
括でなく、貸付年数によ
る均等償還等の考えはな
いか。

今後検討する

町長

畜産後継者も増えてき
ており、認定農業者も経
営改善計画に従い、導入
計画を着々と進めてい
る。資金を借りて5年目
で一括返済するというの
は、今の価格が不安定な
状況から考えると厳しい
ものがある。均等償還に
ついては今後検討する。



和牛畜産品評会